

調布市消防団
広報誌

CHOFU CITY VOLUNTEER FIRE BRIGADE

平成26年（2014年）1月12日 通刊第5号 発行／調布市消防団事務局 東京都調布市小島町2-33-1 文化会館たづくり西館3階 総合防災安全課内 TEL 042-481-7348



第5号



CONTENTS

分団紹介&写真で見る分団活動	P2
第19回 消防団ポンプ操法大会	P3
平成26年 行事予定	P4
東京消防庁防災部長賞を受賞しました	P4
第9分団消防ポンプ車更新	P4

調布市消防団は、本部および15個分団体制で消防団長以下304名により構成されており、普段は自営業やサラリーマンなどの生業を営みながら、消防団活動を行っています。

団員は、火災、河川の氾濫、地震などの災害時に市民の皆様の安全安心を守るために、日夜消防活動に取り組んでいます。

一層磨きをかけた成果であります。

また、昨年は伊豆大島で台風26号により、多くの方々被害に遭われました。この度の災害で、被害に遭われた皆様方に心よりお見舞い申し上げます。我々消防団においては、今後いつ起こるか分からない災害に対して、地域の中核的存在として「安全安心」のため、消防防災に関する知識や技術を高め、火災発生時にもとより、地震や風水害といった大規模災害発生時における消火活動、救出救助活動、避難誘導など、調布市消防団が一丸となって対応していく所存です。

そして、これまで以上の努力と研鑽に努め、「郷土愛護」の精神を強くもち、より地域に根差した消防団を目指してまいります。

結びに、市民の皆様におかれましては、調布市消防団へのより一層のご理解とご協力を賜りますよう、お願いを申し上げますとともに、皆様の今年一年の益々のご健勝、ご多幸を心よりご祈念申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

調布市消防団長
清水孝夫

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より調布市消防団の活動にご理解とご協力をいただき深く感謝いたします。

さて、昨年においては、9月7日に第19回調布市消防団ポンプ操法大会を開催致しました。春先より訓練を重ね、各分団とも規律、技術において大変素晴らしい内容の大会でありました。

優勝した第6分団は、10月27日に行われた第43回東京都消防操法大会に出場し、調布市消防団の名に恥じぬ、素晴らしい演技を披露してくれました。これもひとえに、各分団の日頃からの訓練の賜物であり、災害が発生した際には、迅速に対応できるように、知識技能により

分団紹介

調布市の各地域を担当する分団の紹介です。
毎号、分団長からのコメントと分団の活動写真により紹介していきます。

第4分団

第4分団の詰所は、調布駅北側に位置し、小島町全域、布田1、4、5、6丁目・調布ヶ丘1丁目、4丁目・染地1丁目・多摩川6、7丁目を担当し、火災発生時には、隣接地域にも出動しています。

この地域の特性は、市役所などの行政エリア、また飲食店が軒を連ねる繁華街、そして、閑静な住宅街や布多天神社などの歴史ある建造物などバラエティー豊かです。

私共は、これら市民の生命財産を守る為、日々の規律ある訓練はもちろん、春秋の火災予防運動や歳末消防特別警戒などの広報活動や消火栓・防火水槽の点検を積極的に行っています。また、消火技術向上の為、操法訓練にも一丸となつて取り組み、昨年の調布市ポンプ車操法大会で5位入賞という結果を収めました。

今後とも地域の自治会、地区協や小学校と連携し絆を深め、地域に愛される消防団を目指します。

第4分団長 齊藤 修太郎



ヘルメットの微調整を行う



ポンプ車の動作確認中



レンジャー行進 駆け足〜 進め



消火栓からの注水&交通整理



操法訓練での第4分団員写真



台風26号の排水対策での側溝掃除

第9分団

私達第9分団は佐須町、深大寺、調布ヶ丘、八雲台を担当とし、柴崎、菊野台、富士見町、布田、国領町、三鷹市大沢などの隣接地域も出場範囲としています。調布の中央付近に位置するため周囲には隣接する分団も多く、相互に協力して消防活動に取り組んでおります。

そのため、隣接の出場でもおそろにならないよう、消火栓の位置確認や点検を行い、また、消火活動や災害活動を円滑迅速にするため、出場訓練や機械器具の点検を行っております。

地域活動としては、担当地域にある柏野小学校の盆踊り警備や防災訓練への参加、野川灯籠流しの警備、自治会の防災訓練等地域の方々との絆を深める様々な行事に参加させて頂いております。今後も地域の皆様との連携を大事にし、安心して暮らせる町をめざし、さらなる努力を続けていきたいと思っています。

第9分団長 渋川 潤



ポンプ車には様々な装備品が積載されている



ポンプ車操作盤にて、ポンプ圧の確認を行う



火災に備え点検を欠かさない



吸水管を延ばし吸水を行う



操法大会での様子



夜間での活動も行う

第14分団

第14分団は、深大寺東町及び南町を担当地域とし、火災やその他災害に備え月2回の機械器具点検や警戒活動として様々な訓練を行っています。

構成団員の本来も様々な業種、造園業、会社員、自営業など多岐に渡っています。また、それぞれの団員は、地域の青年会やその他の団体に重複して所属している者が殆どで、消防団以外の接点が多岐にわたります。その為分団内の雰囲気はとても和やかで、私生活の面でもお互いに協力し合っています。しかし、災害活動となった場合には上級命令に従い一刻も早い事態の鎮火に努めています。またこれまでも、地域のイベントに積極的に参加し火災予防の広報を行う等して火災がゼロとなる様、努力しています。

この様に、個々の団員が活動しやすいメリハリを持った環境作りと、地元の防災リーダーとなる消防団をこれからも目指して参ります。

第14分団長 相田 幸栄



「放水やめ！」



いざ操法大会にのぞむ



規律厳正に訓練にあたる



今年度の操法大会



装備を整え出動！



消防団による一斉放水

第19回

調布市消防団ポンプ操法大会

平成25年9月7日(於・消防大学校)

調布市消防団では2年に1度、調布市消防団ポンプ操法大会を実施しております。操法とは、消防活動の基礎となるポンプ車の操作や器具操作一連の動作を言います。今大会では、調布市消防団全15個分団が、操作開始から放水による「火点」と呼ばれる標的を倒すまでのタイムや動作の正確性、規律を競い合いました。操法の訓練を行うことは、消火までの速さと正確さを高め、いざという時の火災に対する対応能力を高めることができる重要な訓練といえます。前回大会では、ホースカー(ホースを積載した手引き車)を使用した大会でしたが、今回は基本的な手広めによる操法を行い、各分団が競い合いました。



1.開会式～選手宣誓

全分団が整列し、消防団長に選手宣誓を行いました。本大会では第7分団金山耕治分団長が行いました。



開会式の様子



第7分団金山耕治分団長による選手宣誓



団旗と表彰旗

2.操法開始～消防ポンプ車乗車

指揮者が副団長に開始報告を行い操法が開始されます。指揮者の指示により、整列していた隊員が、正確かつ迅速な動作で消防ポンプ車に乗車します。



整列待機。



副団長に開始報告を行う



いざ、乗車

3.消防ポンプ車下車～吸水

火災現場に現着したことを想定し、消防ポンプ車から下車します。放水のため、吸水管を水槽に投入し、水利を確保します。



指揮者の指示で下車し、隊員が放水準備を行う



水利確保のため吸水管を延ばす



水槽に吸水管を投入する

4.ホース延長～放水待機

隊員がホースを担いで、火点までホースを伸ばします。ポンプ車から1線ホースを延長し、火点に向かって放水します。その後もう1本ホースを延長し、合計2線でそれぞれの火点めがけて放水をします。



ホースを担ぎ全力疾走



ホースを連結し延長を行う



迅速に放水位置まで向かう



放水待機姿勢で指示を待つ

5.放水～投的～収納

水圧に負けないようにしっかりと構え、火点めがけて放水をします。火点を倒した後は管鎗(かんそう)と呼ばれる器具を取り外します。操法大会では投的後の収納動作も重要な事項です。



放水の様子



標的に命中



収納も規律厳正に行う



6.表彰式

全15個分団の操法が終わり、タイムと動作の正確性、規律等の項目で特に秀でた上位5個分団が表彰されました。今回は第6分団(渡部孝幸分団長)が見事に優勝を果たしました。



優勝した第6分団



入賞した分団には表彰状と盾が贈呈されました

順位	
優勝	第6分団
第2位	第10分団
第3位	第15分団
第4位	第9分団
第5位	第4分団

第6分団 第43回東京都消防操法大会へ出場 平成25年10月27日(於・東京消防庁消防訓練所)

第19回調布市消防団ポンプ操法大会で優勝した第6分団が、第43回東京都消防操法大会へ、調布市消防団の代表として出場しました。大会当日は、指揮者である渡部孝幸分団長のもと、統率のとれた正確かつ迅速な操法を行い、すばらしい操法を披露しました。

規律厳正なる整列
これから東京都消防操法大会に臨む

操法開始。1秒でも早く！



放水始め！



第6分団の選手の皆さん

平成26年の主な予定

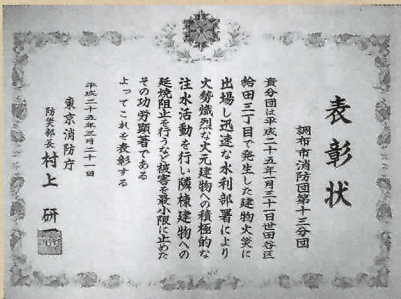
12月下旬	11月中旬	11月9～15日	10月下旬	9月下旬	5月中旬	4月末日	4月1日	3月1～7日	3月上旬	2月中旬	1月下旬	1月12日	
歳末消防特別警戒	震災消防演習	秋の火災予防運動・警戒	調布市総合防災訓練	北多摩地区消防大会	調布市総合水防訓練	基本操法訓練	機関員訓練・規律訓練	新入団員等任命式	春の火災予防運動・警戒	機械器具特別点検	消防ポンプ車技能講習会	文化財防火演習	出初式

ほか、地域の防災訓練や催事等にも参加しています。
(予定は変更される場合があります。各行事の詳細は消防団事務局までお問い合わせください。)

第13分団
東京消防庁防災部長賞受賞



平成25年3月21日に、第13分団が東京消防庁にて、東京消防庁防災部長賞を受賞しました。第13分団は、建物火災に出場し、迅速な水利部署により火元建物への積極的な注水活動を行い、隣棟建物への延焼阻止を行うなど、被害を最小限に止めた功績が認められ、受賞にいたしました。



第9分団
消防ポンプ車更新



新しいポンプ車

平成25年11月28日(木)、調布市役所前庭にて、第9分団の消防ポンプ車の更新に伴う引渡式が開催されました。まず、調布市消防団から調布市に旧ポンプ車の返納が行われ、その後、調布市から調布市消防団に新ポンプ車の引渡が行われました。赤色灯や室内灯等の電球をLED化し、サーチライトも高光度のものを導入したことにより、夜間での活動がしやすくなりました。今後も装備の充実に努め、消防団の対応能力の向上を目指します。



災害現場での活躍に期待



地域の安全安心を守っていく



消防団長から第9分団長へ鍵を引渡す

市内15個分団に、
宝くじの助成金で破壊工具を
整備しました。



破壊工具は、エンジンや電気が使えない状況や重機が入れないような狭い場所での救助の際に、被災建物を破壊して救助を行うための工具です。先端のツールを状況に応じて交換することによって、レンガ・ブロック・石材・コンクリートを破壊することができます。また、窓や扉等のこじ開けや、金属シート材の切断もできるため、救助活動を円滑に行えます。

地震時の行動

地震の時は、
まず身の安全を図り
揺れがおさまるまで
様子を見る。



地震時に身の安全を図ることは、けがなどを防止するだけでなく、地震直後の行動に移行するための重要な行動です。

お問合せ:調布消防署

☎042-486-0119

まず身の安全!!
地震!

消防団員募集!



調布市消防団と
地域のみなさまが
あなたの力を
待ち望んでいます!

お問い合わせ

調布市消防団事務局
(調布市役所総合防災安全課内)

☎ 042-481-7348

入団
資格

調布市に居住または勤務している、
年齢18歳以上の健康な方